

登米地域だより
R8年度　秋号

発行　宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所　https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/10.html
〒987-0511 登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5　TEL 0220−22−6123/FAX 0220-22-8096

令和8年7月～8月

地域の商工業を担う人材の確保に向けた取り組み

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

■ヴォイストレーニングセミナー

登米市内の高校2校で、3年生を対象に、就職活動に役立つ挨拶やコミュニケーションの基本を学ぶセミナーを開催しました。返事の大切さや好印象を持たせるフェイスアプローチ、美しい立ち振る舞い、正しい言葉遣いや話し方など、コミュニケーションにおける基本的なポイントについて説明があり、参加した生徒からは、「表情や発音の大切さを学ぶことができた」、「就職の面接等で今日学んだことを活かしたい」といった感想をいただきました。



■とめオープンファクトリー

市内企業について理解を深めてもらうとともに、将来的に地元企業への就職につなげるきっかけづくりを創出することを目的に、小・中学生と保護者を対象にした親子工場見学会を開催しました。 今年で3年目の本催しには、108 組 270 名の親子が参加し、普段は見ることのできない工場内の見学やものづくり体験を楽しみました。参加者からは「親子揃って貴重な体験ができた」、「いろんな機械や人たちがいて、みんな頑張っていてすごい！」といった感想が寄せられました。当部では引き続き市内企業の認知度向上に向けた支援を行っていきます。



（株）登米村田製作所



（株）松下塗装

■登米地域ものづくり企業と学生の意見交換を通じた人材確保促進業務

東北文化学園大学の学生が登米地域のものづくり企業を訪問し、工場見学や若手社員との意見交換を行いました。参加学生による振り返りワーキングや成果発表を通じて、学生の就職観や企業選択において重視するポイントを把握し、今後の地域企業の魅力発信や人材確保施策の充実につなげていきます。

令和8年8月7日

登米市４Ｈクラブ・登米市おいしいもの市に参加

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

令和８年８月７日に県庁ロビーで「登米市おいしいもの市」が開催され、登米市4Hクラブが参加しました。

当クラブでは玉ねぎ、ジャガイモなどの農産物を販売しました。また、登米市内の新規就農者が栽培したミニトマト、アスパラも預かり、あわせて販売しました。

当日は登米市内の桃、ネギ加工品などが販売されていましたが、当クラブの出品物は非常に人気で、好調な売れ行きとなりました。

お客さんの中には登米市4Hクラブや、登米市の野菜に興味を持っていただいた方もおり、登米市の農業を多方面に PR できたと感じています。

クラブ員も販売を通じて自分たちの活動に自信をつけ、次の販売会にも参加したいと意気込んでいました。

当部では、今後も登米市4Hクラブの活動を支援し、登米地域を支える担い手の確保・育成に取り組んでまいります。



田んぼダムの取り組みについて

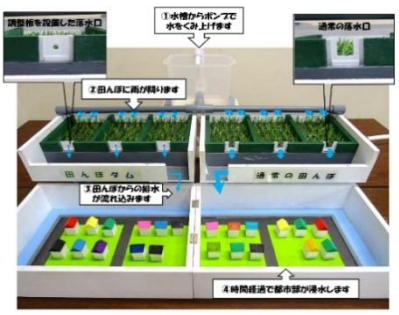
宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

今年は例年にも増して雨量が多く、局地的なゲリラ豪雨や台風による急な大雨のニュースを耳にする機会が増えました。そのような中、水害から私たちの暮らしや地域を守るための取り組みとして、「田んぼダム」が大きな注目を集めています。

田んぼダムとは、大雨が降った際、一時的に田んぼに雨水を貯留し、時間をかけてゆっくりと川へ排水することで、下流にある農地や市街地での洪水被害を軽減しようという取り組みです。通常、田んぼに降った雨は落水桝を通って、すぐに排水路へ流れ出ます。しかし、この落水桝に小さな穴の開いた専用の調整板を取り付けることで、大雨時の排水量を抑えます。これにより、田んぼがダムのような役割を果たし、大量の雨水が一度に排水路へ流れ込んで氾濫するのを未然に防ぐことができるのです。

宮城県でも、すでにさまざまな地域で田んぼダムの導入が開始されており、登米市においても、昨年から約４ヘクタールの水田で取り組みがスタートしました。登米市は県内有数の米どころのため、田んぼダムの取り組み拡大により洪水被害の軽減が期待されています。

【田んぼダムの仕組みや効果を分かりやすく説明した動画は、こちらからご覧いただけます↓】



QR コード

令和8年9月5日

令和８年度
宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）

宮城県東部家畜保健衛生所

生産農家と関係者が一堂に会し、家畜改良及び飼養技術の向上に努力･研鑽した成果を披露する「令和8年度宮城県総合畜産共進会(肉用牛の部)」が、美里町の「みやぎ総合家畜市場」を会場に、令和8年9月4～5日に開催されました。

共進会には、肉用繁殖雌牛延べ58頭(個体出品25頭、群出品12組33頭)の出品がありました。登米地域からは、7月に行われた第19回登米市畜産共進会での上位入賞牛を中心に選抜された12頭(個体出品4頭、群出品3組8頭)が出品されました。また、登米市共進会では特別区として出品された、登米総合産業高校の「さくらば31」号が、第２区(若雌の2)に出品されました。

共進会は、1日目に出品牛1頭ごとに体高などの体格測定や栄養度判定を行う「個体審査」、2日目は第1区～第5区の各区ごとに出品牛を審査場に並べて「比較審査」が行われました。

審査の結果、登米地域の出品牛は、5つの区のうち、3 つの区で最優秀賞を獲得しました。第4区(高等登録群)では、登米和牛育種組合の出品牛(母「らむね」号、娘「すぷらいと」号、出品者:チバズファーム株式会社)は、昨年度に続いて最優秀賞1席を獲得しましたが、団体賞は遠田地区が獲得、惜しくも登米地区の連覇とはなりませんでした。

登米和牛育種組合では、9月11日に出品者及び関係者を参集し「報告会」を開催、今年の県共進会の総括を行うとともに、来年8月に開催される、第13回全国和牛能力共進会北海道大会へ県代表牛として出品できるよう、関係者一同、決意を新たにしました。

令和８年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）登米地域出品牛

出品区分	県共出品牛 名号	産地	父牛	出品者 地区	氏名	備考
第１区 若雌の1 単品	まりん	南方町産	勝茂桜	南方町	株式会社 Ttmファーム	最優秀賞 3席
	とりのさん	自家産	安百合幸	迫町	佐藤浩康	優秀賞
第２区 若雌の2 単品	ひな	自家産	勝茂桜	迫町	チバズファーム 株式会社	最優秀賞 2席
	みつば	自家産	安百合幸	迫町	小野寺正人	最優秀賞 4席
	さくらば31	自家産	茂福久	中田町	登米総合産業高等学校	優秀賞
第３区 繁殖雌牛群 1組3頭	ゆりひめ	米山町産	茂福久	登米和牛育種組合 米山町	冨栄　隆	優秀賞
	さくろ	南方町産	洋糸波	登米和牛育種組合 中田町	船島一芳	
	さくらのこ	米山町産	勝福桜	登米和牛育種組合 豊里町	(株)カブキファーム	

出品区分	県共出品牛 名号	産地	父牛	出品者 地区	氏名	備考
第４区 高等登録群 1組2頭	らむね	県内産	幸紀雄	登米和牛育種組合 迫町	チバズファーム(株)	最優秀賞 1席
	すぷらいと	自家産	茂福久	登米和牛育種組合 迫町	チバズファーム(株)	
第５区 父系群 1組3頭	はちみつ	自家産	勝茂桜	登米和牛育種組合 豊里町	(株)カブキファーム	優秀賞
	ちぇりお	自家産	勝茂桜	登米和牛育種組合 迫町	チバズファーム(株)	
	ねも	登米町産	勝茂桜	登米和牛育種組合 石越町	佐藤宜克	



比較審査の様子



第４区（高等登録群）で最優秀賞１席を獲得した母「らむね」号（右）と娘「すぷらいと」号（左）

令和8年9月7日

企業と一緒に取り組む里山林の再生

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

令和8年9月7日登米市東和町米川において、兼松サステック株式会社と米川生産森林組合の間で「みやぎの里山林協働再生支援事業」に関する協定締結式が行われました。同社は木材の防腐・防蟻処理等を行う主要工場が県内に立地していることが縁となり、今回の協定締結に繋がりました。この協定では、米川地区の豊かな里山を保全するため、企業と森林所有者が協力して、森林の整備や植林、保全活動などに取り組むこととなっています。

今回の協定をきっかけに、米川地区の生活環境の保全や生物多様性の確保など、森林の持つ公益的機能が十分に発揮される里山林の再生に向けて期待が高まっております。

県と致しましても、地域の森林を守り、次の世代へ引き継ぐとともに、森林の持つ役割を地域の人々に伝えていく取組として、今後の活動を支援して参ります。





令和8年7月31日

令和８年度登米地区薬物乱用防止及び食中毒予防キャンペーン

宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所（石巻保健所登米支所）

石巻保健所登米支所では、登米地区薬物乱用防止指導員協議会、登米食品衛生協会と共催し、学校法人三幸学園　飛鳥未来きずな高等学校登米本校、佐沼ライオンズクラブ及び佐沼ロータリークラブの皆さまにご協力いただき、「令和８年度登米地区薬物乱用防止及び食中毒予防キャンペーン」を開催しました。

このキャンペーンは、薬物乱用問題に対する認識を高め、薬物乱用のない社会づくりに貢献することを目的とする「薬物乱用防止キャンペーン」と、食中毒予防の理解を深め、飲食に起因する事故の発生を未然に防止することを目的とする「食中毒予防キャンペーン」を合同開催したものです。

イオンタウン佐沼店に来店された 400 名の皆さまに、『薬物乱用「ダメ。ゼッタイ」』と『正しい手洗いを忘れずに！』の啓発を行いました。また、多くの皆さまから薬物乱用防止のための国連支援募金にご協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。



飛鳥未来きずな高等学校登米本校
学生ボランティアの皆さま

令和8年8月6日～17日

スマイルサポーターパネル展

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

道路ふれあい月間の取組として「スマイルサポーターパネル展」を開催し、サポーターとして御協力いただいている皆様の活動の様子を紹介しました。

■月日　８月6日(木)～8 月17日(月)

■場所　イオンスーパーセンター佐沼店





○道路ふれあい月間とは･･･

道路を常に美しく保ち、安全に正しく利用するための啓発活動や、愛護活動を特に推進する期間として毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。

道路を利用する方々に、道路とふれあい、道路の役割と重要性を改めて知っていただくため、県全域で様々な取組を行っています。

○スマイルサポーターとは･･･

県が管理している道路や河川において、定期的に清掃や緑化作業などの美化活動を行っていただいている団体や個人を県が「スマイルサポーター」に認定しています。

現在、登米市内で道路 58団体、河川 27団体の計 85団体のスマイルサポーターに御協力をいただいています。

令和8年7月22日

2026 夏休み！小学生と保護者の建設現場見学会

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

普段は見ることができない建設工事現場や工事で使われている技術の見学を通じ、建設産業の魅力や社会的意義についての理解を深め、将来の職業選びに役立てていただくため、7月22日に宮城県建設業協会登米支部の協力を得て小学生と保護者の建設現場見学会を開催しました。

長沼川左岸の大網調整地で行われた見学会には、申し込みのあった14組35名が参加し、工事の説明を受けた後、現場見学を行ったほか、油圧ショベルや高所作業車などの重機試乗体験、AR体験、測量機器を使った宝探しなどを行いました。

参加した小学生からは、「重機に乗れてうれしかった」、「AR体験がとてもおもしろかった」、「宝探しが楽しかった」などの感想が寄せられ、建設業に興味を持ってもらう貴重な機会となりました。





重機試乗体験



AR体験



測量機器体験



記念撮影